

「人がつながり 未来につなぐ 緑豊かな 笑顔あふれるまち やちよ」を目指して

令和7年第1回市議会定例会は、2月19日～3月24日に開催されました。服部友則市長が開会日に述べた施政方針と7年度予算編成、重点施策を紹介します。

施政方針

昨年は八千代ふるさと親子祭が第50回を迎え、史上最大規模の8,888発の打ち上げ花火により夜空が彩られました。そのほか、スポーツ交流を通じて友好を深めてきた北海道釧路市との友好都市協定が締結されるなど、本市にとって大きな節目の年となりました。また、パリ2024オリンピックにおいては角田選手が金メダルと銀メダル、安楽選手が銀メダルを獲得し、本市初となる祝賀パレード開催など大いに盛り上がりを見せました。さらに、4年ぶりとなる八千代こども親善大使のバンコク都への派遣、子ども子育て支援複合施設「ハルモニア」のオープンなど、明るい話題が続いた1年となりました。

本年は、本市のまちづくりの最上位計画である第5次総合計画の後半部分である、後期基本計画がスタートします。本市の人口は増加傾向で推移し続けていますが、令和11年をピークとして緩やかに減少していく見込みです。また、気候変動により激甚化する自然災害や長引く物価高騰、デジタル化の急速な進展など、社会全体を取り巻く環境が大きく変化する中において、これまで以上に安心・安全に暮らせるまちづくりが必要とされています。

本計画では、前期基本計画策定後に生じた、人口構造の変化や公共施設の老朽化、自然災害への対応などの課題に加え、コロナ禍からの社会経済活動の正常化、さらにはSDGsやDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進、環境に配慮したカーボンニュートラルの実現などをはじめとする時代の潮流

への対応など、新たな行政課題に対応していきます。

本市が目指す将来都市像「人がつながり未来につなぐ 緑豊かな 笑顔あふれるまち やちよ」の実現に向けた各施策をSDGsの理念に基づいて推進するとともに、市民の皆様が日々の生活に幸せを実感できるウェルビーイングなまちづくりを目指します。

保育園や学童保育所等の定員拡充や、保育士及び幼稚園教諭の処遇改善のほか、みどりが丘小学校分離新設校を建設し、すべての子どもが健やかに育ち、誰もが子育てしたいと思うまちづくりに努めます。また、市役所の新庁舎整備は9年度中の完成を目指しています。防災道の駅やちよ・八千代ふるさとステーションは、農・遊び・防災の3要素を兼ね備えた道の駅を目指し、新川及び新川千本桜などの観光資源との連携を図りながら、さらなる賑わいの創出などを図ります。

今後も本市が「住みたい、住み続けたい」まちであり続けるために、市民の皆様の声にしっかりと耳を傾け、市政運営に全身全霊を尽くしていきます。

予算編成と規模

7年度当初予算では、国の動向と地方財政の課題をとらえながら、市財政の現状と課題を分析し、市税収入の大幅な増収は見込めない一方、社会保障関係経費や公共施設等の改修・更新などの財政需要の増加、また、現下の労務単価や資材価格の高止まりの影響も長期化が懸念されるなど、厳しい財政状況が続く見通しの中、将来を見据えた持続可能な財政運営を進めながら、総合計画に掲げる将来都市像の実現に向けた施策を推進するため、限られた財源を効率的・効果的に配分し「最少の経費で最大の効果」を挙げるべく、全ての事業について緊急性や必要性、費用対効果を十

分に検証した上で見直しに取り組むこととし、「市民の安心・安全への対応」「財政健全化への対応」「総合計画等の着実な推進」「効率的な執行体制の確立と職員の能力・資質の向上」の基本的方針に基づき予算編成を行いました。

歳入では、自主財源において、市税で個人市民税の定額減税の終了等に伴い増を見込んだこと、繰入金で財政調整基金繰入金や市債管理基金繰入金が増となったほか、諸収入でデジタル基盤改革支援補助金の増を見込んだことなどにより増額となっています。また、依存財源においても、市債で防災道の駅やちよ整備事業債や小学校施設整備事業債で増を見込んだほか、国庫支出金で児童手当負担金や物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などで増となったことなどにより増額となっています。

歳出では、一般職員や会計年度任用職員の人件費、児童手当支給事業や民間保育園運営事業などの扶助費、基幹情報システム管理事業やコンピュータ教育事業などの物件費、給付金・定額減税一体支援事業（給付金分）などの補助費等、防災道の駅やちよ整備事業や小学校施設整備事業などの普通建設事業費などで増額となっています。

この結果、7年度当初予算の規模は、一般会計では、833億8,000万円で、6年度当初予算と比較すると98億1,700万円、13.3%の増となり、本市の当初予算の規模としては6年度に引き続き過去最大となりました。

特別会計では、総額348億8,736万2千円で、前年度比0.8%の減となりました。

公営企業会計については、水道事業会計と公共下水道事業会計の合計は119億675万2千円で、前年度比3.8%の減となりました。

なお、一般会計、特別会計、公営企業会計を合わせた市全体の予算規模は、前年度比7.5%増の1,301億7,411万4千円となりました。

4月13日(日)に源右衛門祭と新川一斉清掃を開催

■源右衛門祭

新川の治水に取り組んだ染谷源右衛門と開削した人々を偲び感謝するための祭り「第21回源右衛門祭」を開催します。直径2mの大鍋「源右衛門鍋」で作る「もちぶた炙りチャーシューバージョンとん汁」のほか、模擬店が多数出店します。また、市内学校や団体による吹奏楽演奏や和太鼓パフォーマンスなども行われます。ぜひご来場ください。

▼日時 4月13日(日)午前9時45分から午後4時まで(雨天決行)
▼場所 八千代総合運動公園多目的広場 ▼問い合わせ先 源右衛門祭実行委員会事務局(八千代商工会議所内) ☎(483)1771 (観光推進室)

■新川一斉清掃

印旛沼へ注ぐ河川の水質保全を目的として、新川周辺の清掃活動を実施します。動きやすい服装でお越しください。集合場所は八千代総合運動公園多目的広場の環境政策課ブースです。
▼日時 4月13日(日)午前10時から1時間程度を予定。受け付けは午前9時30分から。(小雨決行。荒天時は中止)
※参加者には印旛沼流域に関連した各種記念品をお一人様1個配付(個数制限あり)するとともに、とん汁1杯無料券を先着でプレゼントします。(環境政策課 ☎(421)6765) (観光推進室)

第16回八千代ゆりのき台つじ祭りを開催します

八千代中央駅前ゆりのき通りのつつじの開花に合わせて「八千代ゆりのき台つじ祭り」を開催します。ゆりのき通りを一部歩行者天国にして、市内学校や団体による演奏やダンスのほか、模擬店が多数出店します。

▼日時 4月29日(祝)午前10時から午後5時まで(雨天時縮小開催) ▼場所 八千代中央駅前ゆりのき通り ▼問い合わせ先 八千代ゆりのき台つじ祭り実行委員会 ☎080(3910)1638 (観光推進室)

市の計画を策定しました

- 八千代市こども計画 こども基本法に基づき、7年度～11年度を計画期間として、こども施策に関する幅広い事業などについて定めています。(子育て支援課 ☎(421)6751)
- 第6次障害者計画 障害者基本法に基づき、7年度～11年度を計画期間として、本市の障害者の状況などを踏まえ障害者のための施策に関する基本的な計画を定めています。(障害者支援課 ☎(421)6739)
- 第2次八千代市地域福祉計画・八千代市地域福祉活動計画 社会福祉法に基づき、7年度～11年度を計画期間として、地域福祉に関する取り組みについて定めています。(福祉総合相談課 ☎(421)6738)